

都立大泉高等学校同窓会・いずみ会会誌

# 会報いずみ

## 第40号

会報 いずみ 第40号

発行 平成8年9月14日  
 編集人 宇多正行  
 発行人 田中英道  
 発行所 いずみ会  
 〒178 練馬区東大泉5-3-1  
 都立大泉高校内  
 ☎ 03-3924-0318  
 印刷所 (有)一光印刷所  
 〒176 練馬区旭丘1-67-8  
 ☎ 03-3953-3336



合唱部OB・OGの熱唱。指揮は岡部守弘先生

### いずみ会五十周年記念祝賀会盛大に開催

### 母校体育館に八〇〇余名集う

平成七年一〇月一四日(土)  
 予想をはるかに上回る八〇〇名以上の卒業生・恩師が母校の体育館に集まった。

校門を入り、桜並木をくぐる  
 と「いずみ会創立五十周年記念祝賀会 会場」の看板が待ち構えていた。玄関受付でスリッパに履きかえ二階に上がると、長いアプローチの左右の壁に、写真部OBの手により復元された校舎・高校生活の五〇余年の歴史を回想させる写真パネルと、「一〇〇ネットワーク」のパネルが展示されていた。中学1期から高校47期までの五〇の期にわたる同期会と五〇余りのクラブや同好会の卒業メンバーの現状を知り、その輪を広げて行くことの高校11期加藤勇氏提案によるものである。一〇〇枚にも及ぶ縦八〇センチ横五〇センチの白いパネルには、伝言板あり、アルバム風あり、それぞれ工夫が凝らされ、熱心に見る者、同期へのメッセージを記入する者ありで賑わっていた。昔の写真も懐かしいかぎりだった。

また、開会前に校内施設の見

学会があったが、新装なった校舎やL教室、プールなどは初めて見る人々に好評であった。控室では、恩師、来賓、卒業生達が、大泉でそれぞれの時代に話を花を咲かせていた。受付には長蛇の列ができ、開会時間が多少引き延ばされるハプニング(?)もあった。

いよいよ記念式典が始まった。高校24期の真柳仁氏の司会のもと、田中英道会長、吉野尚也校長を初めとする来賓の方々、恩師代表の園子岩雄先生の挨拶が続き、歴代会長に感謝状ならびに花束が贈呈された。

このたびの会場設営にあたっては、特に高校13期丸山和郎氏が、忙しい会社勤めの合間を縫って、資材の調達から体育館のシート敷きまで、若い会員達の先頭に立って大活躍をされた。式典に続いて、大竹恭麿前会長の乾杯で祝賀会が開会された。司会は高校20期の栗原正成、菊池素子両氏が担当。合唱部OBのモーツァルトやシューマン等の歌曲。この日のために軽音楽同好会OBを中心に結成された

たバンドによるビートルズナンバーの熱演。会場にあふれんばかりの音響も、大泉魂のかたまりのように聞こえてくるのであった。吹奏楽部OBも日頃の腕前を存分に披露してくれた。場内では、多勢の調理人が、フライパンをふるってオムレツなど温かい料理を作り、冷たい飲み物もたっぷり用意され、雰囲気は更に盛り上がった。また、会場の一角において、マルチメディアの展示があり、パソコン写真館やインターネットの紹介も行われていた。

最後に現役生の応援団長が吹奏楽部や合唱部と共に壇上に登り、「校歌」「校友の歌」を全員で大合唱して、楽しく懐かしい三時間も終わりを告げた。

|              |       |
|--------------|-------|
| 記事           | (2面)  |
| 「100周年実行幹事会」 | (3面)  |
| 「ネットワーク」     | (4面)  |
| 「祝賀会」        | (5面)  |
| 「主幹会」        | (6面)  |
| 「主幹会」        | (7面)  |
| 「主幹会」        | (8面)  |
| 「主幹会」        | (12面) |
| 「主幹会」        | (12面) |
| 「主幹会」        | (12面) |

本年度  
**いずみ会総会・懇親会**  
 10月27日(日) 午後1時〜  
**母校にて開催**  
 (詳細は12面に)

# 「100ネットワーク」の勝利

イベント担当 山田 清子(高7期)

いずみ会五十周年記念祝賀会は、大泉高校の体育館に晴れやかに響きわたるファンファーレで開幕されました。誇らしげに金管楽器を奏でるのは、大泉高校吹奏楽部OBのメンバーです。

この度の祝賀会には、いくつかのクラブOB会の応援をいただきました。各同期会が50のネット、クラブOB会が50ネットの「100ネットワーク」を祝賀会の核にとり願いがあ



「祝典行進曲」で日頃の腕前を披露

りましたが、イベント担当の私共は、OB会活動の情報はおく一部しか掴んでいない状態でした。しかし、わずかな情報を手がかりに尋ねてみると、OB会の方々は大層好意的に力を貸してくださることが判りました。吹奏楽部、将棋部、写真部等はすでに何年にもわたって活動していること、バスケット部や野球部のOB達は、現役の部に何らかの形で援助をしていることなど、改めて感心してしまいました。また、この度の企画を機に昔の仲間が集まって懇親の場を持ちたいという部もいくつか出てきて、私共のイベントにも役に立ったかなと思ったりもしました。さらに、柔道部の面々は祝賀会に多勢の参加者を約束してくれました。これらの方々への協力は、何と力強く頼もしく感じられたことでしょう。



ビートルズといずみ会は永遠に不滅です

そして祝賀会当日、会場につづく廊下の窓際には、彼らクラブOB会の活動状況を記したパネルがずらりと並びました。面白そうに見ておられる方々に誇りたいような気さえしました。また、会場となった体育館では、軽音楽の同好者が大音響を奏で、吹奏学部も日頃の練習の腕前を聴かせてくれました。合唱部は、この日のために岡部先生に指揮を依頼し、三〇名近い参加者が何回かの練習を重ねて演奏に臨みました。合唱部は、これを機会にOBOG合唱団を結成、活動を始めています。これらのクラブOB会の協力を得て、祝賀会は何と成功しました。今回の企画で、いずみ会々員の力強さ、優しさを存分に感じさせられました。今後の同期会、クラブOB会のますますの活躍に期待いたします。

## いずみ会名簿

—創立50周年記念版—

ただいま好評発売中!

在庫僅少(1,000余部販売済)

☆ 卒業生・現旧教職員 20,000名掲載

☆ 写真でみる母校の歩み

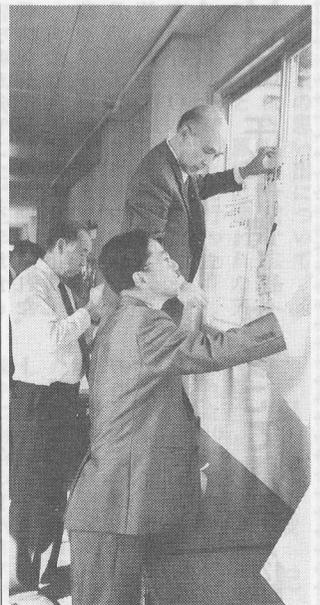
3,000円(送料込)

※お申し込みは、同封の振込用紙をお使いください。

## いずみ会50周年記念祝賀会 特別会計収支決算

| 科目             | 予算        | 決算            | 科目            | 予算        | 決算             |
|----------------|-----------|---------------|---------------|-----------|----------------|
| <b>1. 収入の部</b> |           |               | (8)祝賀会費       | 1,973,800 | (4,071,729)    |
| (1)会費収入        | 2,500,000 | 5,260,000(※1) |               |           | 3,712,665(※7)  |
| (2)いずみ会一般会計から  | 700,000   | 700,000       |               |           | 359,064(※8)    |
| (3)寄付          |           | 887,500       | (9)予備費        | 449,000   | (401,968)      |
| (4)祝儀          |           | 40,000        | ①反省会          |           | 180,680        |
| 収入合計           | 3,200,000 | 6,887,500     | ②謝礼           |           | 115,000        |
| <b>2. 支出の部</b> |           |               | ③振替口座手数料      |           | 43,830         |
| (1)会場          | 103,000   | 115,000(※2)   | ④会費納入欠席者小冊子送料 |           | 23,458         |
| (2)受付          | 40,000    | 65,895(※3)    | ⑤返金(二重振込等)    |           | 39,000         |
| (3)式典          | 3,200     | 0(※4)         | 支出合計          | 3,200,000 | 5,683,474      |
| (4)総務          | (435,000) | (662,982)     |               |           | 差引残高 1,204,026 |
| ①会合費           | 250,000   | 292,162       |               |           |                |
| ②通信費           | 35,000    | 56,899(※5)    |               |           |                |
| ③印刷代           | 150,000   | 238,811       |               |           |                |
| (5)記録・広報       | 50,000    | 135,219       |               |           |                |
| (6)イベント        | 96,000    | 109,033(※6)   |               |           |                |
| (7)小冊子         | 50,000    | 121,648       |               |           |                |

(※1) 7,000円×488人+5,000円×361人+3,000円×13人  
 (※2) 机レンタル等 (※3) 名札・文房具・コピー等  
 (※4) 受付関連費に含む (※5) 当日スタッフ昼食代  
 (※6) 展示パネル等 (※7) 飲食費(業者支払分)  
 (※8) 看板・会場設営・給仕・盛り花等(業者支払分)



「広がれ/同窓の輪」100のパネルを展示

# 同窓生ひとりひとりに乾杯!

実行委員長 名倉光雄(中期)



記念事業の準備が始まりました。皆、社会の第一線で活躍され、或いは学業に励まれている多忙な方々ばかりでした。彼らの無報酬、手弁当の献身的な奉仕活動によって、この記念事業を大成功に導くことができました。

平成三年、母校の創立五十周年記念式典及び祝賀会の行事が盛況裡にとり行われた際、同窓会である「いずみ会」も挙げて協力させて頂きましたが、今度はその「いずみ会」自身の誕生五十周年を迎え、母校のそれにも増して意義のある記念行事を企画しなければなりません。

平成六年十一月、実行委員会が組織され、祝賀会開催と会員名簿の整備・発行とを柱とする



感謝状の贈呈。左は大竹前会長

同窓の方々、これを機に各期ごと或いは各文化部・運動部等のOB会ごとの活動を、よりいっそう活発にして頂きたいと願っております。そのことが、人と人とのつながりを深め、同窓会をより活性化させることになり、ひいては母校の発展にもつながるものであると信じます。末筆ながら、母校の校長先生をはじめ各先生方、並びに関係者の皆様方のご厚情、ご協力に厚く感謝申し上げます。わが、大泉の同窓生ひとりひとりに乾杯!

# 誇りと憧れ

第十五代校長 吉野尚也

「孫が大泉に入り、あんたが校長と聞いて電話したんだ。」

実は、息子も息子の嫁も大泉でね。孫は中学の担任に西高を薦められたが、「僕はだ泉と決めています。」って言ったんだそうだ。息子も喜んでいたら。よろしくね……」

電話の向こうは元都立高校長の保護者の後などで「下の子供が今度受験なんです、是非大泉に入れていんです」という声を伺うことも珍しくありません。

親子で、夫婦で、兄弟で大泉同窓生とは嬉しい限りです。入試制度が単独選抜となつて三年、かつてのごとく本校を真に希望する生徒が入学する大泉。それだけに、初代校長室岡孝治先生の標榜された「自主創造・文武両道」の伝統を守り続けたいと思つていきます。



祝賀会で。中央が吉野校長

昨年の一〇月一四日に行われた「同窓会創立五十周年」にお集まりの八〇〇名を越える卒業生・教職員達の熱き思いは、私の胸にもずしりと感ずるものがありました。

特に、昭和二〇年卒の中学1期生の方々の絆の強さと意気軒昂なお姿には、頭の下がる思いがいたしました。

中学2期の田中英道会長をはじめ卒業生各位には、入学式・体育祭・進路懇談会・部活動や合宿・卒業式等々、お世話になるばかりであります。

各界で活躍される同窓の諸先輩は、在校生にとつては誇りと憧れであり、大いなる目標でもあります。

そして、同窓会「いずみ会」の発展は、創立五十五周年を迎えた母校大泉高校の発展でもあります。いずみ会のみならずのご発展を祈念いたします。



800名を越す参加者で賑わった



懐かしい先生方……

## 教職員人事異動

### ▼転出・退職(新任校)

- 日史 牧野 茂(新宿 嘱託)
- 数学 幸田泰伸(北野 嘱託)
- 英語 田中裕子(西・嘱託)
- 保体 星 寿男(羽村)
- 保体 大田和久(鷺宮)
- 社会 沢辺朋史(永福)
- 社会 小島真理子(紅葉川)
- 数学 沼田英一(文京)
- 事務 角田由理子(東京女性財団)
- 事務 丸山秀一(清瀬)
- 事務 長浜真人(中野養護)
- 事務 入(前任校)
- 世史 横倉 絢(板橋)
- 地理 鈴木 基(赤坂)
- 数学 橋口修承(国立)
- 数学 上内 進(練馬)
- 保体 鎌田重行(武蔵)
- 英語 小泉 力(保谷)
- 事務 向江芳樹(福祉局)
- 事務 高橋恭子(戸山)
- 事務 松本弘樹(文京)

平成八年度(一九九六年度)のいずみ会幹事総会が六月二日母校にて出席幹事五〇名のもとに開催された。(司会・高24期真柳仁/議長・高28期西澤正博)

主な議事は次の通りである。

- ・七年度事業報告及び決算
- ・八年度事業計画及び予算案
- ・役員改選
- ・その他

鈴木前副会長から昨秋に開催された五十周年記念行事が関係者の総力を結集した結果大変な成功に終わり、それに伴い特別会計も予想を上回る額を残した旨報告があった。記念名簿も賛助広告収入が目録額を越え、売り上げも好調であるとの報告であった。名簿の情報が古くならないうちに新入会員への配布及

- 平成8・9年度いずみ会役員
- (◎は部長)
- 会長 田中 英道(中2)
- 副会長 茂木 光男(高11)
- 石井 晴士(高10)
- 理事 宇多 正行(高25)
- 事務局長 寺 章夫(高20)
- 総務◎ 寺 章夫(高20)
- 企画部 菊谷 義美(中2)
- 小野田 敦子(高12)
- 山本 章義(高13)
- 土肥 晚美(高20)
- 築 茂之(高30)
- 会報部◎ 中村 史子(高9)
- 大軒 謙一(高18)
- 仲沢 浩一(高32)
- 久 高(高21)
- 記録部◎ 植村 久(高21)
- ※会報部兼務
- 名簿部◎ 吉田 寛(高25)
- 野島 陽子(高28)
- 西澤 正博(高28)
- 春木 孟(中1)
- 敬治(高2)
- 山田 清子(高7)
- 監査役 新木 敬治(高2)
- いずみ会 顧問
- 吉野尚也(大泉高校校長)

## 各期の力を合わせた魅力的な総会開催を期す

び会員への積極的販売を展開し、残部を消化した段階で次回発行を検討したいとの吉田名簿部長の発言があった。

また名簿部会が中心になって進めている会員情報のデータベース化も順調であり、各期名簿担当者の方により全会員の約七割の住所等が判明している。今期からは同期会の連絡等に活用するため、宛名ラベルを希望する期に年一回に限り提供する旨説明があった。さらに会費納入等の会計処理のコンピュータ化も予定されている。

## 幹事総会報告

一方会費収入の面から新入会員の減少傾向に対して質疑があり、会の財政は、将来を考えると決して予断を許さない状況であるとの確認がなされた。

これら諸事業の報告・計画と質疑応答をうけて、予算・決算については拍手で承認された。

役員改選に関しては、幹事全員に事前に候補者紹介文が送付されており、特別に信任投票を求める動きも無かったため、再選を含めた会長、副会長、理事及び監査役の二〇名が信任された。また、今回で理事を退任する役員について前副会長から紹介があり、謝意を込めた盛大な拍手が送られた。

総会について慣例であった六月第一日曜開催を今年から秋に変更した。また一般会員に主体的に総会に参加してもらうため、

- 事務局幹事
- 総務部 日高 周子(高4)
- 企画部 椎葉 亮一(高11)
- 小林 芳子(高11)
- 広瀬 明子(高11)
- 板橋 昭寿(高13)
- 佐藤 朝子(高13)
- 小久保 英一(高24)
- 沼田 英一(高24)
- 伊藤 諭(高34)
- 橋本 健太郎(高40)
- 平田 節子(高13)
- 栗原 正成(高20)
- 荒井 真理子(高20)
- 杉山 明美(高18)
- 長栄 邦夫(高26)
- 横山 由美(高26)
- 梅澤 やよひ(高6)
- 富田 順子(高11)
- ※名簿部兼務
- 布施百合子(高14)
- ☆事務局幹事は、理事と協力して会の運営に携わっていただく方々です。

## 高校48期 いずみ会幹事

|    |       |     |                   |           |
|----|-------|-----|-------------------|-----------|
| 1組 | 柿島 拓真 | 176 | 練馬区貫井5-25-14      | 3990-6491 |
|    | 木下美穂子 | 179 | 練馬区田柄4-22-14      | 3939-0680 |
| 2組 | 田原 謙一 | 176 | 練馬区豊玉南3-14-5      | 3948-6452 |
|    | 山口 昭子 | 164 | 中野区中野6-15-6-A-102 | 3360-0673 |
| 3組 | 上村 大輔 | 167 | 杉並区今川3-22-14-301  | 3394-7587 |
|    | 福沢 綾子 | 177 | 練馬区高野台5-13-10     | 5393-3951 |
| 4組 | 三好 誠  | 176 | 練馬区向山1-9-1-302    | 3998-8752 |
|    | 上坂 彩  | 179 | 練馬区土支田2-5-2       | 3978-2887 |
| 5組 | 太田 俊彦 | 179 | 練馬区北町6-13-203     | 3933-4779 |
|    | 大岩 志緒 | 176 | 練馬区豊玉中3-2-15      | 3991-1518 |
| 6組 | 相馬 崇裕 | 179 | 練馬区北町6-17-106     | 3933-5403 |
|    | 石川美由紀 | 179 | 練馬区土支田3-22-8-101  | 3867-1164 |
| 7組 | 青山 哲雄 | 178 | 練馬区東大泉7-1-9       | 3978-9510 |
|    | 河西 智子 | 179 | 練馬区春日町3-20-8      | 3926-7437 |
| 8組 | 門脇 卓也 | 178 | 練馬区大泉学園町6-14-12   | 3921-1613 |
|    | 西村 信行 | 177 | 練馬区石神井台2-16-6     | 3997-3067 |

※ 幹事の役割は、幹事総会への出席の他、各期の名簿管理・会報の発送などです。高校48期の皆さんは、住所変更等ありましたら、上記幹事にご連絡ください。

## 新入幹事との懇談会

総会や記念祝賀会等各種行事を開催した際、若手会員の参加が少なく、それなら日頃からいずみ会への理解を深めてもらう必要があるのではないかと、声が高まり、その一環として今年度より新入幹事といずみ会執行部との懇談会開催が決まりました。

七月十三日池袋にて高校48期新入幹事六名を迎え、田中会長以下六名の出席のもと和やかなうちに二時間の会が催された。

執行部より会の概要や幹事の役割説明をした後、今後の名簿管理や会への協力を依頼し、8名の門脇卓也氏に、期の窓口をお願いした。同期会と会とのパイプを繋ぐ必要をお互いに確認して散会した。

現在の同窓会室は、円形校舎三階にあるが、事実上物置化しており、会議や印刷作業、名簿や備品の保存設置等の需要を満たせる状態にない。このため是非とも母校内に新たに同窓会室用のスペースを確保してくれるよう学校に要望する事になった。

いずみ会を運営するメンバーにもっと若い人の力が加しい、もっと同窓会に気軽に参加して、また卒業式前日の「入会式」に会長が祝辞とともに会の概要を説明してきたことに加え、今年度から新入幹事を囲む会を計画し、初夏に実施することとなった。

活発な意見交換を経て全議事を確認し、和気藹々のうち閉会となった。(高20期 寺)



平成8年度いずみ会予算

Table with 2 columns: Item and Amount. Includes sections for 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure).

平成7年度いずみ会決算

Table with 3 columns: Item, Budget, Actual. Includes sections for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure).

いずみ会財産

Table showing assets and liabilities as of March 31, 1996. Includes items like 現金 (Cash), 預金 (Savings), and 借入金 (Loans).

会を支える会費 納入のお願い

★会費制を導入して2年半がたちましたが、まだまだ財政的に安心できる状態ではありません。より数多くの皆さんに納入いただくことにより、同窓会活動が長期的に円滑に進みます。まだ、の方にはあらためてご協力をお願いします。

大泉高校新・旧卒業生の進学状況

(平成8年6月現在)

Large table showing university enrollment statistics for Daizen High School graduates. Columns include University Name, New Graduates, Old Graduates, and Total.

Table showing enrollment statistics for various universities and colleges, including 同志社, 立命館, 大東文化, etc.

# おめでとう 紫綬褒章受章

## 上代淑人氏に聞く

### 同期生菊谷義美氏と対談

菊谷 昨年の秋の紫綬褒章受章、おめでとう。これは学術・芸能の分野で優れた業績をあげた方に与えられるものだそうですが、その内容について少し……。

上代 有難うございます。私はただ永い歳月をかけて、ひとつの研究を続けてきただけです。受章は「生化学の研究」ということですが、これは基礎医学のひとつの分野で、病気の原因を分子レベルで明らかにし、治療への道を拓くということを目的としています。

菊谷 どういう動機で医学を選んだのですか。  
上代 私たちが大泉中にいた頃は軍国主義の時代で、戦争に勝つことだけを考えて必死に働きました。それが、四年生の夏に敗戦を迎えて、急に価値観が変わり、生きる目的を失ったような頃がありました。そのとき、私は医者になって病気の人を治すために働くというように、いつの時代でも世の中の役に立つような仕事を、一生やりたいと決



心しました。  
菊谷 だけど、専門としては臨床医ではなく、基礎医学の研究の道を選ばれたのは……。

上代 インターンで患者の診療にたずさわっている頃に、もつと病気の原因をつきとめてみたい、それと医学の教育を担当したい、多くの医者を育ててみたいと思っただけです。

ブレイン・サイエンスの時代  
菊谷 研究の内容についてももう少し詳しく……。  
上代 私が生化学の研究をはじめた頃、遺伝子の構造がわかり分子生物学という新しい分野が急速に発展し、生物学が分子のレベルで理解されるようになってきました。私は医学部の出身なので、病気を分子のレベルで理解しようと考え、それがいわゆる分子医学という方向に発展しました。それから、分子治療という方向に進んでいます。遺伝子治療もそのひとつですが……。

菊谷 癌とも関係がありますか。  
上代 勿論です。この二〇年間で癌が、いわゆる癌遺伝子、癌抑制遺伝子の変異によって起こることが、はっきりしてきました。これらの遺伝子は、私たちの染色体にあって、本来生理的に重要な役割を果たしているもの

です。したがって癌の治療は難かしいのですが、それでも個々の癌について遺伝子の変異の実体が明らかにされれば、それに対する治療の方法が考えられるでしょう。現在では四人に一人は癌で死ぬといわれているので、これを解決するのは、大へん重要なことです。

菊谷 生命科学の今後の目標は。  
上代 二一世紀は脳のサイエンスが中心になるといわれています。高次神経活動が、われわれの研究対象に近づいてきています。記憶とか、それから愛とか悲しみといった情念も物質のレベルで捉えられ、精神がどのような分子の基盤の上に立つものかが明らかにされると思います。

菊谷 話は変わりますが、私たちは、大泉中の2期生で、その頃大泉の校風は私たちが創つていくという気概がありました。  
上代 菊谷君は三〇年近く大泉で教鞭をとられていましたね。同級生が母校ですつと教育にあたっているというのが、私たちの誇りでした。

菊谷 私は高等師範を卒業してから約七年位、川口で教えていましたが、三三年に土屋先生の後任として大泉に赴任しました。その後三〇年間勤めましたので、大泉の五〇年の歴史の大半を見守ってきました。



上代 淑人 (かじろ・よしと)  
中2期、東大医卒。東大医科教授、退官後米国で研究を続ける。スタンフォード大客員教授、DNA X研究所員を経て、現在東工大客員教授、専門は分子医学。

菊谷 義美 (きくたに・よしみ)  
中2期、東京高師卒。昭和33年より平成元年迄大泉高校数学科として教諭、パイプ役と学校も御活躍された。現在東京女子体育大学助教授。

上代 都立の高校だから、ひとつの学校にそれだけ長い間勤められるのは余り例がないのでは……。  
菊谷 他から誘われたこともありませんが、私は大泉に残りました。居心地がよかったです。野澤(要助)先生もよく言われましたが、大泉を西武沿線が一番よい学校にするんだという意気込みで頑張ってきました。

人生一二〇年  
上代 われわれも、これからの長寿社会で、できるだけ現役で生き甲斐のある生活を続けたいですね。人間は生物学的には一〇才まで生きられると言われていますが、ただ寝たきりで生きていくというだけでは駄目でクオリティの高い生活を最後まで続けられるようにすることが、医学の目的です。これからも、それを目標にして研究を続けて

二一世紀までも見通される上代淑人氏のお話は、菊谷義美氏という最良の聞き手を得て、大へん有益でした。また、12面には小林綾子氏(女優)のインタビュー記事があります。  
会員の皆さん、あなたの身近なところに、こんなすばらしい業績をあげた人がいる、広く世に知らせたいチャタリングな人がいる、意外な人物が大泉高の出身者だった、というようなことはありませんか。  
ぜひ、いずみ会事務局にお知らせください。対談・インタビュー・鼎談など、アイディアもお寄せください。お待ちしております。

# 同期会だより

## 中学1期

卒業五十周年  
記念文集を発行  
小川喜卯六

昨年のいずみ会創立五十周年記念祝賀会は、我々には卒業五十周年に当たるので、クラス全員に出席を呼び掛け、四〇人が集まりました。これは各期生のうちで最大の参加者数でした。五年前から定期的なクラス会を持ち、名簿も極力整備してきた結果かと思えます。

昨年は、卒業五十周年記念文集「大いなる泉を去って」(B5版一〇一頁)を自費出版発行しました。我々は昭和一六年入学で二〇年卒業ですから、全く競争と共に過ごした母校生活でした。終戦前の一年間は、勤労動員で現在の武蔵野市緑町に位置した「中島飛行機株」に行き、そこで空襲の直撃を受けました。文集にはこれら入学から卒業までの母校生活七四編が生々しく語られています。

祝賀会では、吉野校長先生を交えての懇談時、この文集を母校に寄贈し、一年後の我々の「古希の会」には是非出席下さるようお願いした次第です。記念文集は残部少々ありますので、ご希望の方には実費(一五〇〇円)でお分けします。

## 中学2期

「星影のワルツ」熱唱  
片山達郎

中学2期同期会を昨年のいずみ会創立五十周年記念式典時に続いて、今年も六月一日(土)、新橋のカフェテラス・リンドンで開催しました。いつもの如く大勢集まり、中には遠く酒田、福島からも参加してくれました。面影は残っているが、名乗らないと誰だつたか判らない者もあり、大半の者が未だ現役という若さ溢れる大盛況の会でした。

青木・鈴木両先生をお招きし、わが同期会恒例の講演には、昨秋、医学部門で紫綬褒章を受章



まだまだ現役です

した東工大生命理工学部客員教授の上代淑人君のお祝いを兼ねて「遺伝子、その本体のDNAについて、更に分子医学の研究と遺伝子治療について」の話をご本人にして頂きました。(七面にインタビュー記事あり)

カラオケもあり、青木先生のお年に見えぬ美声に拍手。鈴木先生の詩吟をはじめ、皆夫々、年期の入った数々の歌の披露で、時の経つのも忘れる程でした。我々中学2期は校歌も無しで過ごしたので、最後に全員で校歌がわりに「星影のワルツ」を合唱し、また来年もお互いに健康に留意して元気な姿で再会しようと呼びかけて散会しました。

## 高校2期

同期会計画  
新木敬治

樹齢五〇年を超える桜並木をめぐり抜け、五十周年記念祝賀会場に向かう。お、久し振り。お前誰だつて、学年毎に集合した宴席のあちこちでの挨拶、高校生時代に帰ったような気分でお話はずむ。中でも卒業以来初めてだという寺田さん、たくさん写真を撮ってくれました。右下の写真は、その一枚です。

卒業して四五年、そろそろ高校2期仲間も定年を迎え、第二の人生を迎えた人達も始め、なんとなく余裕が出て来た頃と思います。次回は早く同期会を開こうよとの声が多く出ました。五十周年記念祝賀会に出席で



母校体育館の階段にて

きなかつた人達もこの会報をご覧になったらご連絡下さい。お互いに元気な顔を見たいと思います。

残念な事に、祝賀会で元気な顔で挨拶を交わした山本昭君、大塚謙信君があまりにも突然他界されました。ご冥福をお祈り申し上げます。遅れていて申し訳ありませんが、同期会を計画します。よろしく。

## 高校6期

昨日の友は、  
今日も友  
藤本甚一郎

干支を五廻り、即ち還暦。節目でもあり、同期会でもやるべえか。という事で集った顔ぶれ百余名。  
志賀、井上、土屋、中野、堤、

## 高校9期

三回目の同期会  
佐藤喜昭

この年になって三回目の同期会というの妙なものが、平成三年、卒業三十五周年を翌年に控えて有志が集まり、準備を兼ねた第一回 本格的な第二回が開かれ、継続的に行われる事になり、今回は各クラスからの代表二〇名が幹事となり、一年前から毎月一回恵比寿で会合を開き、

永嶋の諸先生にもご出席頂き、賑やかに騒々しく開催された。(平成七年一月一日(土)、新宿・京王プラザホテル) これで何回目になるのか、第一回は何時何処でやったのか、当方極楽トンボなのでそういう面倒なことはいっさい省略させて頂く。  
昨今の不景気につけ込み、酒は持ち込み。それにしても、わが仲間ドモの鯨飲ぶりは相変わらずで、六十ヅラ上げてよくまあ、と自分のことは棚に上げて感心させられた。  
たゞ一抹の淋しさは、担任の佐々木、大里の両先生が他界されたこと、仲間内にも物故者が目立ち始めたこと。  
自然の摂理ゆえ致し方ないが、まあ生きてるうちは、へお酒飲む人、花なら薔。今日もサケサケ、明日もサケサケ。と後生樂をきめこむ心算。  
あ、またやりてえなあ!



120インチのスクリーンで在校時の思い出に見入る

会場選定、当日の計画、特にメ  
イン・イベントを何にするかな  
どアイデアを出し、議論しなが  
ら進めてきた。忙しかつたけれ  
ど楽しい準備期間でもあった。  
平成七年一〇月二二日、ホテ  
ル海洋で五時から開かれた同期  
会には、A組からG組まで全ク  
ラスの担任の先生方(鈴木・三  
戸・堤・森谷・清水・志賀・高  
橋)に御出席をいただき、一〇  
〇名近くの盛会となった。中に  
は遠く札幌や福岡からの参加も  
あり、また卒業以来初めて顔を  
会わず人もいたりで、楽しく、  
懐かしいひとときを過ごした。  
三年後(還暦を迎える年)に  
再会という事で、次期幹事にバ  
トンタッチをした。

### 高校10期

大橋・中山・宇高・井上  
四先生を囲む  
石井晴士

高校10期は定例となった同期  
会を平成八年七月六日午後四時  
から東京駅八重洲口の国際観光  
ホテルで開催。恩師の大橋、中  
山、宇高、井上の四先生をお迎  
えして同期生一〇二名が出席、  
新しい試みとしてインターナシ  
ヨナル・エレクトーン・フェス  
タでグランプリに輝いた宮内康  
生氏のミュージック&トークシ  
ョー、吉野君や古尾谷君等によ  
るショート・トークを交え旧交  
を暖めました。

引続く二次会には、約七〇名  
が参加して大いに語り合い、三  
年後の再会を誓い合いました。

### 高校12期

#### 初めての同期会

小野田(森沢)敦子

昨年はいずみ会五十周年祝賀  
会のあと、卒業後初めての同期  
会をやってみました。大泉駅前  
のお好み焼屋さんに集まったの  
は約三〇名。誰だか判らなかつ  
た人がお互いに半分位ずつつい  
て最初は穏やか、手探り状態でし  
たが、すぐに「エーッ、オマエ  
カー」「ヤダーッ、アナタ」って  
な具合ですっかり盛り上がり、  
頭のウスイのや白いのや、や、  
中年太りや三五年前そのま、風  
(?)のやが、日頃気になる家  
族や商売や肩書を忘れて、喋り、

笑、飲んで、それは楽しい集  
いになりました。  
同期三七一名の中には、住所  
不明で同期会の案内状をいずみ  
会会報に同封できなかった方も  
多く、昨年は約二〇〇名にしか  
声をかけられませんでした。今  
年は名簿の整備が進み、約二七  
〇名に声をかけられそうです。  
詳しくは一〇月末か十一月頭に  
往復ハガキで案内を出す予定で  
す。今回も、今回こそ、誘い合  
わせて是非出席してみたい位  
お互いもう五五才、年に一度位  
は若返って楽しく過してみま  
しうヨ!!



祝賀会々場・記念名簿を手に

### 高校13期

#### 卒業後三五年目の青春

山本章義

梅雨空の六月八日(土)夕方  
から、第四回同期会が開かれた。  
会場は九段下のホテル「グラン

ドパレス」チェリールーム。

卒業後一〇年毎に開催してい  
る同期会だが、今回は五年ぶり  
で、前回の出席者九七名が七三  
名に減ってしまった。しかし、  
初めての出席という懐かしい人  
も何人かいて、また八名もの先  
生方(高橋茂、森谷、志賀、清  
水、鈴木高男、須田、倉園、菊  
谷各先生)にご出席戴き、幹事  
としてはとても嬉しかった。

幹事の挨拶や乾杯後、インタ  
ビュー形式で高橋先生を筆頭に  
先生方全員の近況報告等があり  
後は歓談した。めいめいがお酒  
片手に、懐かしい先生方へ挨拶  
に行ったり、サークルやクラブ  
の友達と旧交を温めたりで大い  
に盛り上がった。

二次会も同ホテルの二三階ラ  
ウンジで行った。一次会参加者  
の九割方が参集し、また突然の  
参加者なども現れて、昔話や近  
況に話が尽きず、大変盛況で三  
五年目の青春を謳歌した。

次回は二〇世紀最後の三年後  
に開催する予定で、再会を楽し  
みにしている。

### 高校18期

#### 四十代も 捨てたものではない

根本孝子

早いもので、もう一年たとう  
としていますが、高校18期も、  
昨年一〇月一四日、五十周年の  
日に合わせて同期会を開催、大  
泉学園北口の「庄や」に約七〇  
人が集まりました。石井先生、  
田上先生、淀縄先生たちも元気



40代まつ盛り(右から2番目が根本さん)

な姿を見せられました。  
同期会としては一次会ながら、  
全体としては二次会ですから、  
みんなもう十分に出来上がって  
います。すぐに各自勝手なお喋  
りに花が咲いて、幹事はお酒と  
お料理の心配だけ、あとは  
流れに任せればよい、手間  
いらずの同期会になりました。  
黙っていてもすぐにバレるの  
で言ってしまうですが、四七歳  
から四八歳へと差しかかってい  
る私達(今年は四八歳から四九  
歳!)にとっては、お互い四十  
代としてはこれが見納め。盛り  
上りの理由のひとつはこれだ  
ったかも。  
もっとも、同期の野口勇さん  
は、なんと小説でこの年の新潮  
新人賞を受賞。四十代も捨てた  
ものではありません。五十代に  
なっても元気で集まる約束の手  
締めをして、こもごも二次会に  
散っていきました。

高校19期

祝賀会がきっかけ

山本克己

平成八年四月二〇日、再会を祝うが如き快晴の下、品川プリンスホテルにて同期会を開催いたしました。

卒業後三〇年間、私ども高校19期は全体の集まりが無く過ごして来ましたが、去年の五十周年祝賀会に出席した同期メンバーでの二次会で『同期会を開催しよう!』となり、早速幹事団を結成して準備に入りました。

熟年の真つ最中で仕事、家庭に多忙を極めている年代にも拘らず、約一四〇名という多数の出席でした。

遠く北海道、九州からも同期生が駆け付け、田上先生を始め旧担任の先生方六名のご出席も戴きました。最初の内、三〇年ぶりの再会で戸惑いつつ、顔と名札を見比べつつの会話でしたが、一瞬の内、当時の大泉生に戻り『おい、おい、ガヤガヤ!』と再会に酔い、あつという間に時間を過ぎました。最後に全員で校歌、校友の歌を大合唱し、お開きとなりました。

興奮醒めやらず、殆ど全員が二次会に流れ込み、夜遅くまで同期の交歓が続き、三、四年私ども高校19期は、三、四年ごとの同期会開催を名指し、不明同期生の調査など名簿の充実を図っております。

高校21期

入学三十周年の節目

守本 純

高校21期同期会を平成八年二月一七日(土)にグラントヒル市ヶ谷で開催致しました。

当日は恒松、金尾、小沢、荻野、田上の諸先生方をお迎えし、男子二四名、女子二六名の計五〇名の参加を得、盛会のうちに終了致しました。その後、二次会・三次会へと更に旧交を暖めたのであります。

我々が昭和四一年に母校「大泉」に入学してから丁度三〇年を迎えての同期会でしたが、盛大に行なう予定で、同期の皆様のご出席とご支援を心からお願い申し上げます。

幹事：植村・守本・戸谷(荒川)・古見(石毛)



次回は卒業30周年祝賀会の予定

高校24期

卒業後二四年目の24期第一回同期会

真柳 仁

「この期はもう同期会はないと思っていたわ」と塚谷先生のお言葉。実は、私もそう思っていた。いずみ会の仕事に係わって五年、同期の姿を見たのはほんの数回。昨年の五十周年祝賀会を最後に引退を考えていた。

ところが、その祝賀会には同期生が三〇名近く参加し、二次会の席で「我々もぜひ同期会をやろう」と話が出て、その場で日時・会場、そしてハガキあて名書きの分担まで決ってしまっただから三ヶ月という早さで第一回同期会は催された。

平成八年一月二一日、新宿三共クラブにおいて、約一〇〇名の参加者を得て、会は盛大に催された。先生方も荒井、安藤、田中暁、金尾、塚谷、設楽の六先生にご出席をいただいた。なにしろ三ヶ月の突貫工事であるから、企画など殆ど無のままに当日に至ったが、懐かしい顔を見るだけでも時間は足りなく(何せ二四年ぶりの人がたくさん!) ゆっくり食べる時間がほしかったという苦情が出たほどである。最後に校歌・校友の歌を全員で大合唱して幕を閉じたが、みな話し足りないと思えて、二次会の居酒屋に九〇名近くが残り、深夜まで宴は続いた。「やはり、諦めなくてよかつ



あいかわらずお元気な安藤先生

高校28期

先生方の若さに驚き

野島(加世田)陽子

昨年の「いずみ会五十周年記念祝賀会」に出席したとき、幹事たちは奮起しました。そしてついに「卒業二十周年記念/第一回同期会」を、五月二五日に池袋のプリンスホテルで開催。八名の担任恩師と、一一八名の仲間の出席を得て大盛況でした。先生方は何故かお若くて、その秘訣を伺いたいほどでした。(それに引き換え私たちは……)一緒に悪化したアイツはどんな親父に? ほろ苦い思い出のあの人会えるかも……

高校29期

次はヤク年!

齊藤俊夫

嗚呼! きれいな思い出に留めておけばよかった……。悲喜こもごも。二〇年も経つと、母校もまた変わってしまいました。新校舎・屋上のプール、まだある円形校舎等のスライド映写も好評でした。二次会には先輩OB経営の「河童天国」に一〇〇名近くが出席。同期名簿も整備され、この会報もみんなに届けられる!

同期の皆さん、五年後にまた集合かけますからよろしくネ! 卒業以来二〇年目にして初の同期会が、四月一三日(土)アルカディア市ヶ谷に於て開催されました。

打ち合わせを重ねた幹事心の配など何処吹く風、一〇〇名ものメンバーが集まり、受付でタックシールに名前を書き込むのももどかしく、話が進むのでした。もちろん子持ちも多かったです。もちろん高校のときのまま。名札がべろべろと剥がれ出す頃にはすっかり昔の顔になり、集合写真の撮影を済ませてから、校友の歌をうたい上げて、七名の先生方とお別れ……出来ずに、そのまま近くの居酒屋へ。一四年に一度、オリンピックの年に会いましょう「一日一〇円ためて出席する様に」と、会長の大石君からの話を記憶して、一部のメンバーはきつと朝まで。

ラグビー部

創部五十周年記念式典  
汗と泥のグラウンドの思い出  
増田孝次(高19期)

終戦直後の昭和二〇年九月、さつまいも畑だった校庭を自分で整備し、ラグビーを始めた。旧制中学生の、一団がありました。翌二一年四月、ラグビー部が創部され、今年で満五〇年を迎えました。この半世紀の歴史の間、青春の多感な三年間を汗と泥にまみれて楕円球を追いかけたOBは五〇〇人を越えました。

今年の五月二五日、午後五時からサンシャインシティ・プリンスホテルで、創部五十周年記念式典を、OB・現役高校生、それに招待に応じていただいた方々、およそ一五〇人の参加を得て、盛大に開催することができました。

式典に先立ち、既に鬼籍に入られたOBへ黙禱を捧げましたが、その中にはラグビー部創部に尽力された米山喜春さん(中学3期・平成七年九月死去)と大塚謙信さん(高校2期・平成



乾杯の音頭をとる堤先生

八年五月死去)などの先輩も含まれていました。

式典では、日比野会長の挨拶のあと、来賓の石丸克己(東京都高体連ラグビー部長 吉野尚也 大泉高校校長の祝辞をいただきました。

続く懇親会は、堤治美先生(元顧問)の乾杯で賑やかに始められ、小石川高校、豊多摩高校、秋田高校の各OB会会長の祝辞をいただきました。こ来賓の方々、歴代の顧問の先生方、OBそれに現役高校生が和気あいあいの中、昔話にラグビー談義にと時を忘れ過ごした二時間あまりのあと、全員でラグビー部

部歌(作詞・高校13期平尾道平、作曲・元顧問佐々木望)を斉唱。豊嶋副会長のラグビーへの思い入れが楽しくも切々と伝わってきた、やや長めの謝辞で、お開きとなりました。

「大泉高校ラグビー部が、終戦直後の明日食べるものもない社会的混乱期に、いち早く創部され活動を始めたことは、大変な努力の結果であり偉大なことです」との感想が、来賓の方々の共通したものでした。

また、日比野会長は「大泉らしく、堅苦しくなく、盛大で楽しい会となった。大泉時代に帰って、懐かしいひとときでした。これを一区切りとして、OB会もより充実したものとなるでしょう。また、大泉高校ラグビー部もさらに奮起してくれることを期待しています」と話していました。

音楽部

新人募集中  
OBOG合唱団誕生  
小川陽弘(高3期)

五十周年記念祝賀会での演奏を契機に、この四月にOBOG合唱団が発足しました。

高校9期までの生徒が教えて頂いた岡部守弘先生のご指導で、月一回の練習に励んでいます。

現在の団員数は、高校3期から高校29期までの三六名と、大泉高校の卒業生でない人が一名の計三七名となっています。

今まで毎月の練習会場の確保に悩まされてきましたが、九月から母校の皆さんのご好意により音楽室を拝借できることになり、団員一同、とても喜んでいくところですよ。

曲目は、初めマドリガルを数曲手がけましたが、これからは、我々にとつての「ナツメロ」やポピュラーな曲も取り上げて行くことになりました。

年齢を超えて仲良く楽しく、演奏会などにも参加することを目標に練習を続ける予定ですので、これからも多くの新人への参加を歓迎します。

いずみ会ネット  
パソコン通信による  
三世代の交流  
橋本武彦(高11期)

昨年一〇月一四日に開催されたいずみ会五十周年記念祝賀会の時に、パソコン通信による交流を提案しました。発足時のメ

ンバーは五人でした。その後、今年に入りパソコン通信を始め、人が増え始め、八月二四日現在三五人になりました。現在のメンバー構成は、高校10期から高校41期までの三世代に跨がっています。縦の交流という点では、運動部・文化部と同様です。いずみ会ネットの特徴は次のとおりです。

(1) 時間と場所を問わない忙し過ぎる現代人にとつてマイペースでやりとり出来るというのは大変好都合です。

(2) 主導権は意見を発表する人、長幼の序によらず、自分の意見を積極的に発表する人がリーダーシップを発揮する事になります。

(3) 気軽に会話、パソコン通信が、郵便に比べて手軽なコミュニケーションという事は、それだけ頻繁に交流の機会を持てるという事です。そして、お互いの情報量が増え、親しみも増してくるというものです。

最後に、いずみ会ネットの将来構想について一言。まず、第一段階(一、二年間)は、いずみ会ネット会員の増強です。いずみ会活動の輪を更に大きくしていくためには、いずみ会の行事により多くの会員が参加してくれる事が必要不可欠です。そのためには、普段のコミュニケーションや、行事への積極的な呼びかけが必要です。そのため

のメディアとしてパソコン通信は適していると思います。そして第二段階(三年後)は、

いずみ会フォーラムの構築です。コミュニケーションを楽しむためには、自由に何時でも意見を交換できる場が必要です。会員数が増えるとも色々考え方を持った人々が集まります。そこで、例えば次のようなテーマを設定して、交流を深めるのでもいいと思います。――スポーツ・趣味・高齢化と少子化・国際化・情報技術・体験談等々。

★これから開きます★

高校15期同期会(昭和38年卒)  
日時 一月二三日(祝)  
午後二時

会場 新宿・ワシントンホテル  
連絡先 矢ヶ崎秀男  
☎〇三三二〇九一八六六

高校25期同期会(昭和48年卒)  
日時 一月二三日(祝)  
午後二時

会場 四谷・スクワール麹町  
三階 「錦華の間」  
会費 八、〇〇〇円  
連絡先 宮川修作  
☎〇四二四二一六〇二三

サツカー部創部五十周年  
記念祝賀会  
日時 平成九年四月六日(日)  
午前一時～ゲーム

・対石神井高OB戦  
・女子プロサッカー招待  
・フットサル  
午後四時～ 祝賀会  
会場 大泉高校

※記念誌(名簿付)作成準備中  
連絡先 栗原正成  
☎〇四二九一七四一四〇六九

### いずみ会総会・懇親会のご案内

年1回、いずみ会会員が集い、親睦を深める場、それが総会です。  
例年6月に実施していましたが、日程を変更いたしました。

と き：平成8年10月27日(日)  
 午後1時～ 受付開始  
 1時15分～ 総会・懇親会  
 3時 終了予定

ところ：母校 大会議室・多目的教室

会 費：中1～高35期 2000円  
 高36期～ 1000円  
 学 生 500円  
 新入会員(高48期) 無料

★参加される方は、同封のハガキを9月30日までに、投函してください。

各期毎の同期会の活性化や、学年を越えた縦の連携を繋げていくために、本年から会員各期のアイデアを取り入れた総会を開催します。具体的には、今年1996年にちなみ、末尾が6の期(高6・16・26・36・46期)が当番期として総会の運営・お世話をいたします。



小林綾子

小林綾子 (こばやし・あやこ)  
女優。昭和47年生。立命館大英米文学科卒。昭和58年放映のNHKテレビ小説「おしん」で、ヒロインの少女時代を好演し、全国に一大ブームを巻き起こした。NHK「土曜プラザ」(午前11時～)の司会で活躍中。9月には舞台で再びおしん役に挑む。東映アカデミー所属。

「おしん」で一世を風靡した小林綾子さん。実はいずみ会会員(高43期)だったのです。七月一日、大泉東映撮影所内でインタビュにに応じていただきました。  
——現在主にはどのような仕事をなさっているのですか。  
小林 NHK「土曜プラザ」でレギュラーの司会をやっています。あとは単発で時代劇やレポーターの仕事。それから舞台で

## 「大泉らしさ」

### 小林綾子さん訪問

また「おしん」を演るんです。九月二日から二九日まで、日比谷の東京宝塚劇場で、成長してからのおしん役を。  
——それは是非拝見したいですね。ところで女優という仕事は、設定された状況や役柄への共感

## が大好き!

能力が必要ですよ。小林 この前も時代劇を撮った監督さんが「役者やるんだっただら何もかも経験してないと気持ちが悪わってこない」とおっしゃっていました。  
——じゃあ、恋もいっぱいしなけりやいけません。(笑)  
——大学は京都(立命館)ですけど、大泉高生では珍しいですよ。何か特別の思い出も?  
小林 初めは東京の大学を考えていたんですが、吉成先生から立命館の一芸入試制度を紹介されて、調べたら文化や芸術にと

大泉の思い出について。小林 やはりHR合宿で広島へ行ったこと。原爆に遭われた方の話を実際に聞きに行ったりして、かなりショックを受けました。皆も刺激を受けて「何かしなけりやいけません」と感じてすぐく得るものがあつたんです。  
——あとは体操部ですか。  
小林 そうですね。特に校内合宿が印象的でした。三年になると余裕も出てきて「ちよっと家に帰ってくる」とか言ってお風呂入って、「あゝ気持ちいい」とか言ってジュース飲んでスィカ食べて、「さあ、そろそろ出掛けようかな」なんて言ってお学校に戻って行くという(笑)そんなこともしてましたね。

それから、大泉の広い敷地とびのびとした環境が大好きでした。桜並木も自慢だと思いませんか。いい思い出です。  
——最後に、現在の立命館生に一言お願いします。  
小林 私がいた頃の自由な雰囲気、のびのびと過ごせる環境というのは、いつまでも変わって欲しくないと思います。高校時代というのは、その時代でしか分かんない、とにかく一番楽しい時期だと思うんです。青春ですよ。将来のこと現在のことに恋愛のこと、いろんなことを感じて考える多感な年頃です。そういう時期を大泉の素敵な環境のなかで過ごして欲しい。そのためにも私の大好きな「大泉らしさ」をいつまでも持ち続けて欲しいと思います。

でも理解ある大学だったので、受けてみることにしたんです。  
——京都での生活はいかがでしたか。一人暮らしなされたので。  
小林 最初は多少抵抗があつたんですが、学生時代の一人暮らしは貴重な体験でした。  
——学生時代のクラブ活動は。  
小林 大泉では体操部に所属していました。顧問は寺本先生でした。大学ではバディとして交換留学生のお世話をする係を二年間やっていました。学内のことや京都の街を教えてあげたり一緒に遊びに行ったりとか。留学生が六〇〇人位いるんですよ。海外セミナーでオクラホマ大に行つて向こうの方にお世話になつたことがきっかけでした。

大泉の思い出について。小林 やはりHR合宿で広島へ行ったこと。原爆に遭われた方の話を実際に聞きに行ったりして、かなりショックを受けました。皆も刺激を受けて「何かしなけりやいけません」と感じてすぐく得るものがあつたんです。  
——あとは体操部ですか。  
小林 そうですね。特に校内合宿が印象的でした。三年になると余裕も出てきて「ちよっと家に帰ってくる」とか言ってお風呂入って、「あゝ気持ちいい」とか言ってジュース飲んでスィカ食べて、「さあ、そろそろ出掛けようかな」なんて言ってお学校に戻って行くという(笑)そんなこともしてましたね。

それから、大泉の広い敷地とびのびとした環境が大好きでした。桜並木も自慢だと思いませんか。いい思い出です。  
——最後に、現在の立命館生に一言お願いします。  
小林 私がいた頃の自由な雰囲気、のびのびと過ごせる環境というのは、いつまでも変わって欲しくないと思います。高校時代というのは、その時代でしか分かんない、とにかく一番楽しい時期だと思うんです。青春ですよ。将来のこと現在のことに恋愛のこと、いろんなことを感じて考える多感な年頃です。そういう時期を大泉の素敵な環境のなかで過ごして欲しい。そのためにも私の大好きな「大泉らしさ」をいつまでも持ち続けて欲しいと思います。

### 編集 後 記

▼「五十周年」の文字に埋め尽くされた40号はいかがでしたか?  
▼「同期会だより」の記事が四ページにもなりました。タイトルから判るとおり、祝賀会を機に同期会開催に向けて動きだした期が多かつたようです。倍増した紙面が同窓の輪の広がりを雄弁に物語っています。  
▼インタビュー記事は二本。半生を捧げた研究で受章なさった大先輩と、社会に巣立つたばかりの女優さん。おふたりの取材の厚さを実感しました。  
▼会報部は出版業界の二女性をはじめ事務局幹事が全員交代。中村謙部長も本業に忙殺され、またしても素人集団になってしまいました。窮地を救ってくれたのは新戦力の先輩方。高校20期栗原さん&荒井さんコンビのバイタリテイに引きずられ、ようやく発行にこぎつけられました。校正期間中は自宅よりも高校9期大軒さんのお宅で食事する方が多かつたかも…。多謝!  
(高32期 仲沢浩一)

「会報いずみ」は、いうまでもなく皆さんのものです。読後のご感想・ご要望・その他いずみ会活動に対するご意見等をお聞かせください。  
【あて先】  
〒112 文京区関口一―八―六一  
七〇六 宇多正行法律事務所  
内 「いずみ会事務局」